

## シマノ自転車博物館・大仙公園百舌鳥古墳群

参加者	梶木、菊池、高城、長谷川、小林	
行程	10:00	南海高野線堺東駅集合
	10:10~11:30	シマノ自転車博物館
	11:35~12:10	堺東商店街で昼食
	12:10~12:40	堺市役所21階展望所から堺臨海工場地帯・古墳群
	13:00~13:15	南海バスで大仙公園に移動
	13:20~13:50	仁徳天皇陵・百舌鳥古墳群ビジターセンター
	14:00~14:20	堺市博物館
	14:40~	JR百舌鳥駅・三国ヶ丘へ歩き 解散



### シマノ自転車博物館

シマノ自転車博物館以前は大仙公園の西側にありましたが、仁徳天皇陵が世界遺産になりましたので、大仙公園の受け入れ態勢等で移転が要請されて、現在の南海高野線堺東駅(高島屋堺東店)の西側に移転しました。展示内容は建物自体が大きくなり、内容も充実を図りゆったり見学することが出来ました。



- 1階の歴史シアターで自転車の歴史を遡る「自転車の誕生とあゆみ」を上映しています。
- 2階へ上がると自転車の歴史として創世記から自転車者発展が展示されています。



初期の自転車は木の環っかを付けて、跨り足を地面につけ交互にけて進んでいた。地面の凸凹を体感しながら進み、高低差があると、ひっくり返る危険性があったとか、しかし、長距離を移動にはこれに優物はなかった。車輪にペダルを付けこぐタイプに改良し、後輪に推進力を与えるチェーンの改良がされ、車輪にタイヤ、チューブのゴム製品の改良で飛躍的に安全性、乗り心地が改善されていきました。職業的にも荷物の積み方の工夫、競争等の速さを競う改良が重ねられてきています。

また各国の自転車生活の状況が放映されており、サイクルロードの整備等が紹介されていました。



2階の上部は映写スペースがあり、自転車の展示の時代の変化を映像で紹介しています。

2階南側は自転車のひろがりとしてそれぞれの時代の技術等を体験できました。

自転車の利用方法で生活状況が変わり、諸外国の事例も紹介され豊かな道路の活用方法など日本の道路状況がいかに危険か思い知らされました。

大仙公園の一角では低学年の自転車教室があり、多くのお子さんが講習に来られています。

## 堺市役所 21階展望室

堺市内はもちろん、遠く淡路島、明石海峡大橋や六甲・生駒・金剛山等が一望されます。

西には旧堺港・臨海工業地帯が見え、北にはアベノハルカス、東には大仙公園や仁徳天皇陵等や古市古墳群、南には関西空港がみられます。



## 仁徳天皇陵古墳

堺東からバスで移動、堺市博物館前で下車すると仁徳天皇陵古墳のすぐ横に付きました。堺観光ボランティア協会の人々が常駐されていて、説明を聞きました。前方後円墳で大きさは全長約486m、高さ約35.8m、堆積約140万 $m^3$ 。古墳としては日本1位で大仙公園の南に履中天皇陵が3位、古市古墳群には2位の応神天皇陵があります。



## 百舌鳥古墳群ビジターセンター

百舌鳥古墳群ビジターセンターは2019年7月に世界遺産に登録された「百舌鳥・古市古墳群－古代日本の古墳群－」の価値や魅力を伝え、百舌鳥古墳群を含む市内周遊を促す拠点施設として仁徳天皇陵のすぐそばに設置されています。

展示コーナーとシアターコーナーがあります。シアターコーナーは超高精細な8K空撮映像等を壁から床まで投影され、古墳群の雄大さや堺の歴史文化を迫力ある映像で体感する施設です。

## 堺市博物館

堺市博物館は、市制90周年記念事業として昭和55(1980)年に開館しました。生涯学習と市民文化の向上のため、堺市の歴史、美術、考古、民俗に関する博物館として、多くの資料を収集、保存、展示しています。そのほか中世の「自由都市」堺の紹介やその後の近代にいたるまでの堺の歴史と文化を紹介しています。

古代史のロマンを秘めた百舌鳥古墳群のほぼ中心にある大仙公園の広大で緑豊かな中に、博物館、堺市茶室、中央図書館、日本庭園、都市緑化センターなどが整備されています。

報告 小林 薫